

## デジタルカメラ「Xシリーズ」用交換レンズの開発ロードマップの最新情報を公開 動画撮影に最適な新シネマカメラ用レンズ「MKレンズ」も加わりラインアップがさらに拡充

平成 29 年 2 月 22 日

富士フイルム株式会社（社長：助野 健児）は、デジタルカメラ「X シリーズ」用交換レンズの開発ロードマップの最新情報を公開いたします。

平成 23 年にデジタルカメラ「X シリーズ」の展開を開始し、平成 24 年には X マウント搭載のミラーレスデジタルカメラを発売、その後も新製品を積極的に投入することで、「X シリーズ」を拡充してきました。あわせて「X シリーズ」用交換レンズのラインアップも充実させ、現在合計 24 本にまで拡大。多くの写真家から、画質と機動性において高い評価をいただいています。

### < 今回新たに追加したレンズ >

#### ① 動画撮影に最適な新シネマカメラ用レンズ「MK レンズ」

プロの撮影分野において、4K 動画をはじめとした高精細な映像制作への需要が急増する中、機動性や操作性に優れ、独自の色再現技術により多彩な色調の高品質な動画を撮影できる「X シリーズ」を活用したいというニーズに応えるため、動画撮影に最適な新シネマカメラ用レンズ「MK レンズ」の「X シリーズ」用マウント（X マウント）に対応した製品を開発します。

#### ② 静止画撮影に最適な「望遠単焦点レンズ」と「超広角ズームレンズ」

これまで「X シリーズ」用交換レンズのラインアップを充実させ、広角域から超望遠域まで幅広い撮影領域をカバーしてきました。今回、静止画撮影に最適な XF レンズの新ラインアップとして、プロ写真家や写真愛好家から特に要望の多かった「望遠単焦点レンズ」と「超広角ズームレンズ」の 2 本を開発します。

今後も、「X シリーズ」と交換レンズのラインアップ拡充を通じて、静止画撮影から動画撮影まで幅広いニーズに対応し、「X シリーズ」の魅力をもさらに拡大していきます。

